令和３年度
第３回学校関係者評価委員会

ようこそ　戸河内小学校へ



令和４年３月１日（火）

1 はじめに

⇒ 学校教育目標，育成したい資質能力

⇒ ６つの方策と指標

⇒ 児童質問紙、保護者質問紙【６月・９月・１月】

2～5「学校評価・自己評価」

⇒「知」・「徳」・「体」
「信頼される学校」

6 おわりに

⇒「３学期の学校の日々」など

⇒ ４月からの新たなスタート（通学区域拡大）

学校教育目標

『よいこの育成』

○よいこを育てる
　　よい先生

○よい先生に
　　共に伸びるよい学校

育成したい資質・能力

よく考えて自分で決める子

自己決定・選択する力

いのち、自分を大切にする子

自尊心・認識する力

こえをかけあい、自分を表現し

相手とわかり合える子

協働・コミュニケーション・表現する力

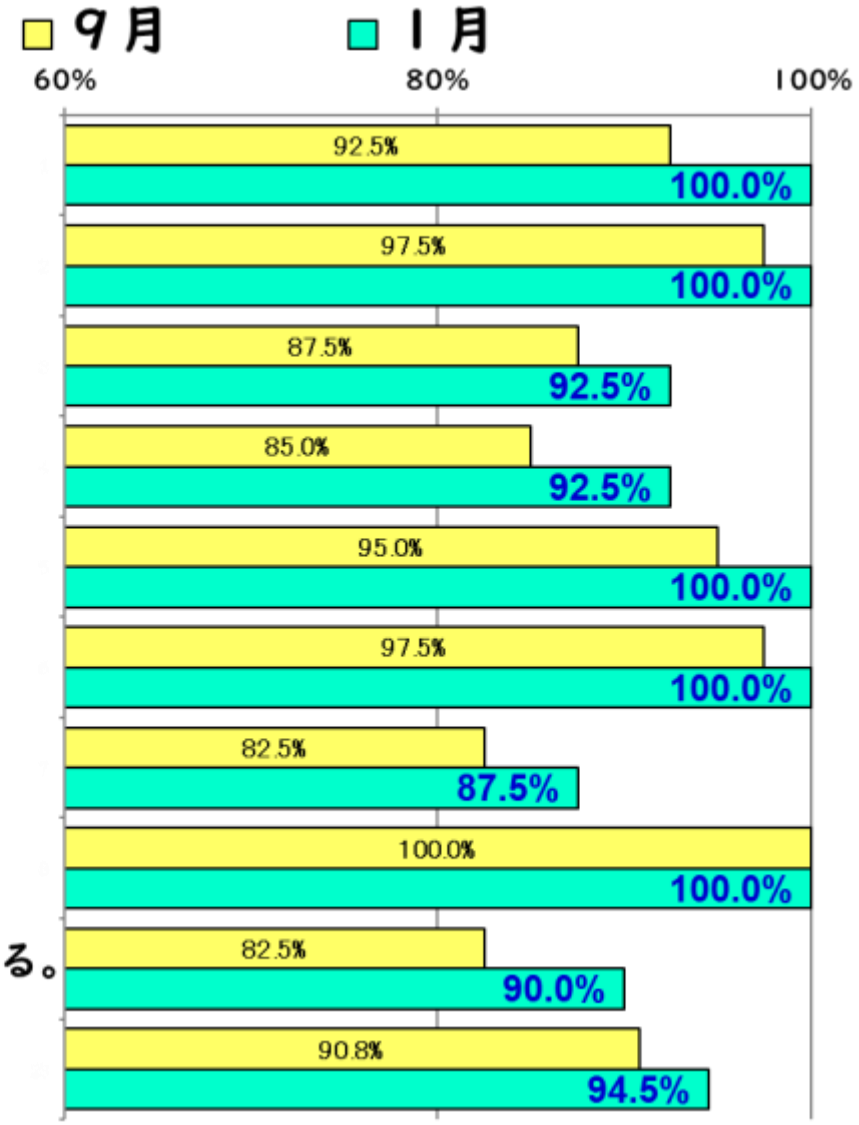
1 学校評価・自己評価表 ⇒ 6つの方策と指標

評価計画（4月末提出）

	c 中期経営目標（3年後を見据えて）	d 短期経営目標（今年度）	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値
確かな学力	主体的・対話的に深く学ぶ子 【協働】【コミュニケーション】 教務研究部	(1)学力向上 ①協調学習 研究・推進 ②個別最適な学び の充実 （学ぶ喜びサポート校）	① 学ぶ喜びを実感させる授業を創造する。 ② 全ての児童に基礎基本を定着させる。	① 児童質問紙の研究推進に関する質問の肯定的回答割合 ②-a 学期末テスト(算数)平均通過率80点以上の児童の割合 ②-b 町学力調査(算数)において，❶対全国比1.00以上もしくは，❷対前年度比1.03以上の児童の割合	① 100% ②-a 80% ②-b 75%
豊かな心	自尊心を高め，自己決定できる子 【自尊心】【自己決定】 生活安全部	(2)キャリア教育 の充実	③ 各種専門家等を招き，直接のお話や体験活動を通して、キャリア教育を充実させる。	③ 専門家や大学生の話を理解し，共感できたか，将来の選択肢の幅が広がったか。 （児童質問紙肯定的回答）	③ 85%
健やかな体	体力向上・生活習慣確立を図れる子。 【自己決定】 生活安全部	(3)体力・運動能力 の向上	④ 課題種目である長座体前屈に重点を置いた指導を展開・継続する。 ・個人票（目標記録等の活用） ・体育科のおける取り組みの継続 ・環境整備（用具・時間の確保）	④-a 新体力テストの結果・分析から，重点課題を設定する。（全国・県平均値との比較） →重点課題：「長座体前屈」 ④-b 評価方法を個人内評価とし，1学期・年度末の伸びの率をみる。	④-a 0% ④-b 10pt (60%)
信頼される学校	地域とのつながりによる信頼される学校を構築する。 【中立性】【公開性】 教頭 事務主幹	(4) 信頼される学校 （評価と公開）	⑤ 保護者・地域へ本校教育活動を積極的に情報発信する。	⑤ 保護者質問紙「信頼される学校」に関する項目の肯定的回答割合	⑤ 90%
		(5) 業務改善	⑥ 勤務時間管理を行う。業務の共有・整理，改善を行う。職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	⑥-a 時間外勤務が月45時間未満の職員 ⑥-b 子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合 ⑥-c 日々の業務の中で充実感が得られている職員の割合	⑥-a 90% ⑥-b 90% ⑥-c 90%

1 はじめに・児童質問紙から(1)

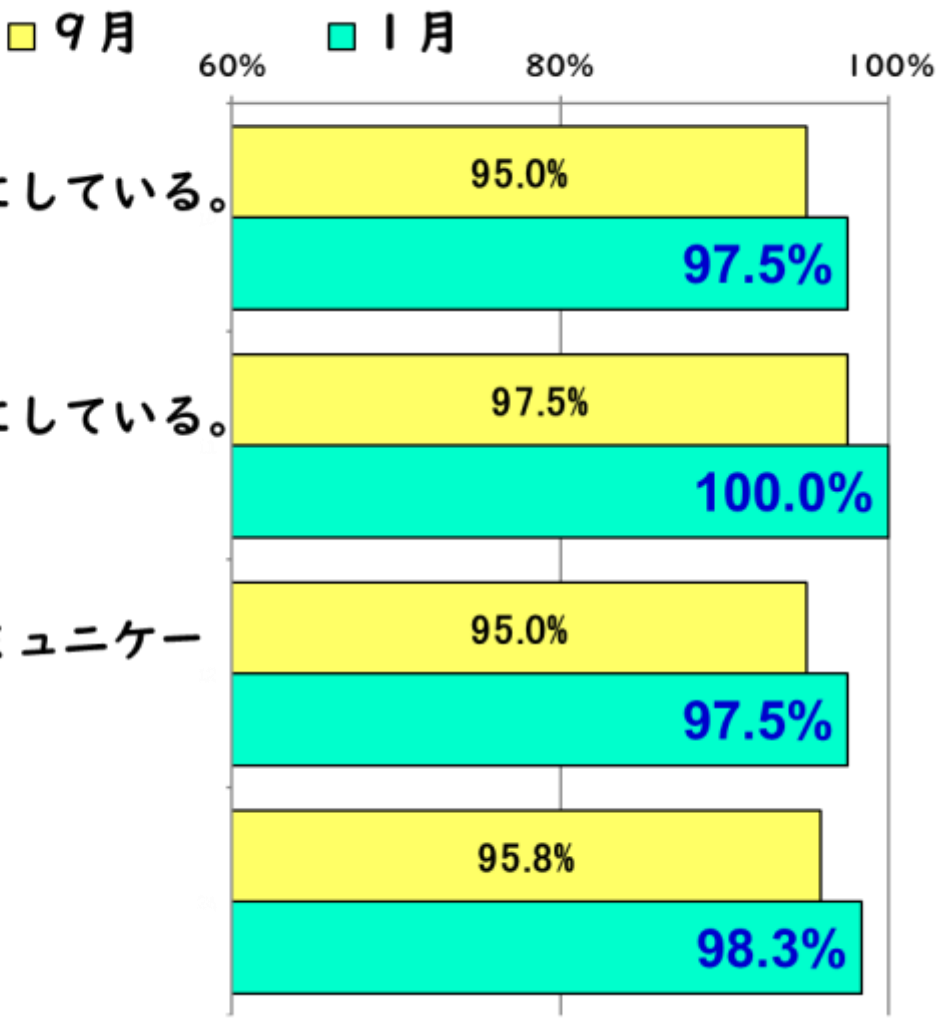
【児童・肯定的回答】



1 はじめに・児童質問紙から(2)

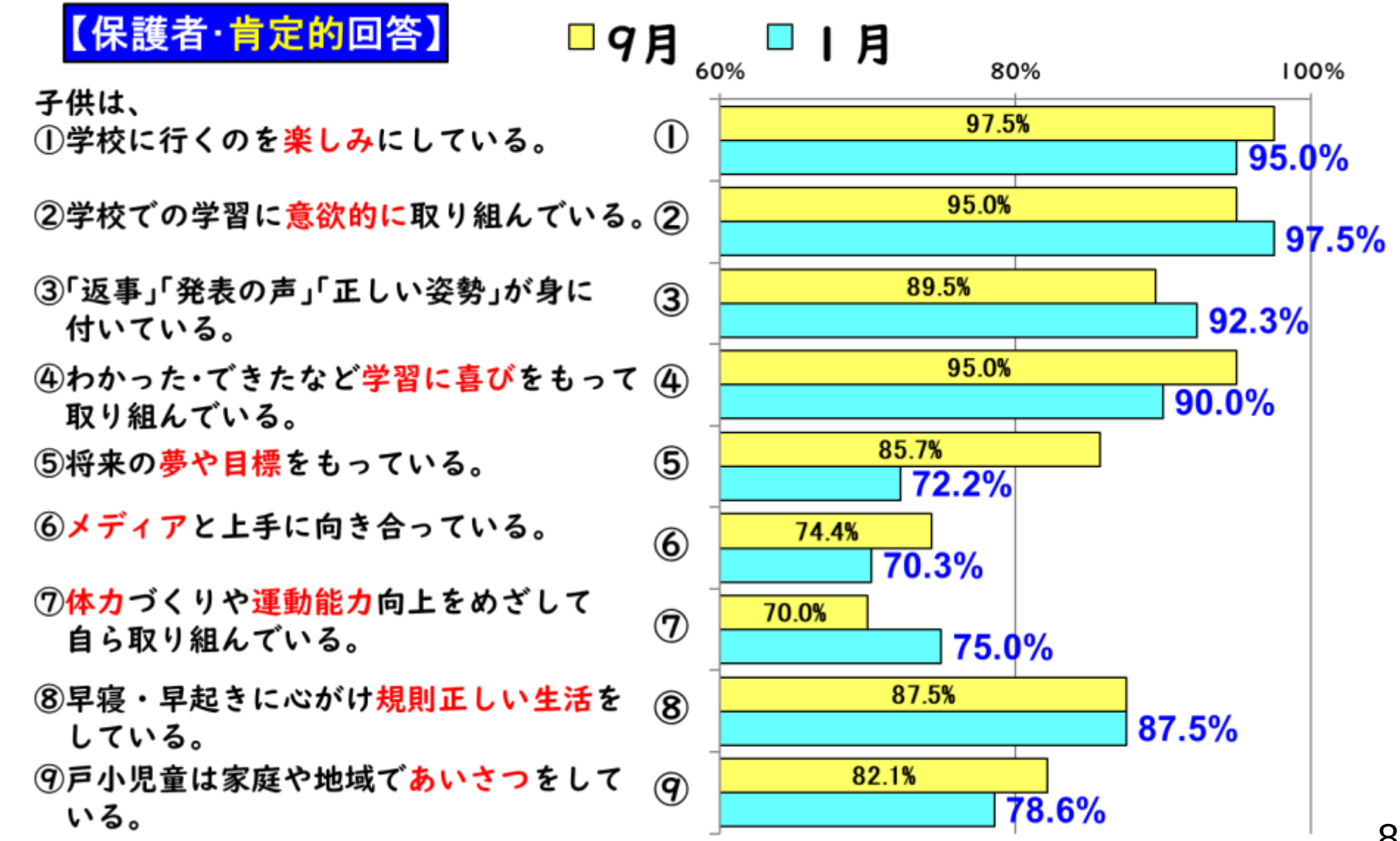
★育成したい資質能力「よ・い・こ」

【児童・肯定的回答】



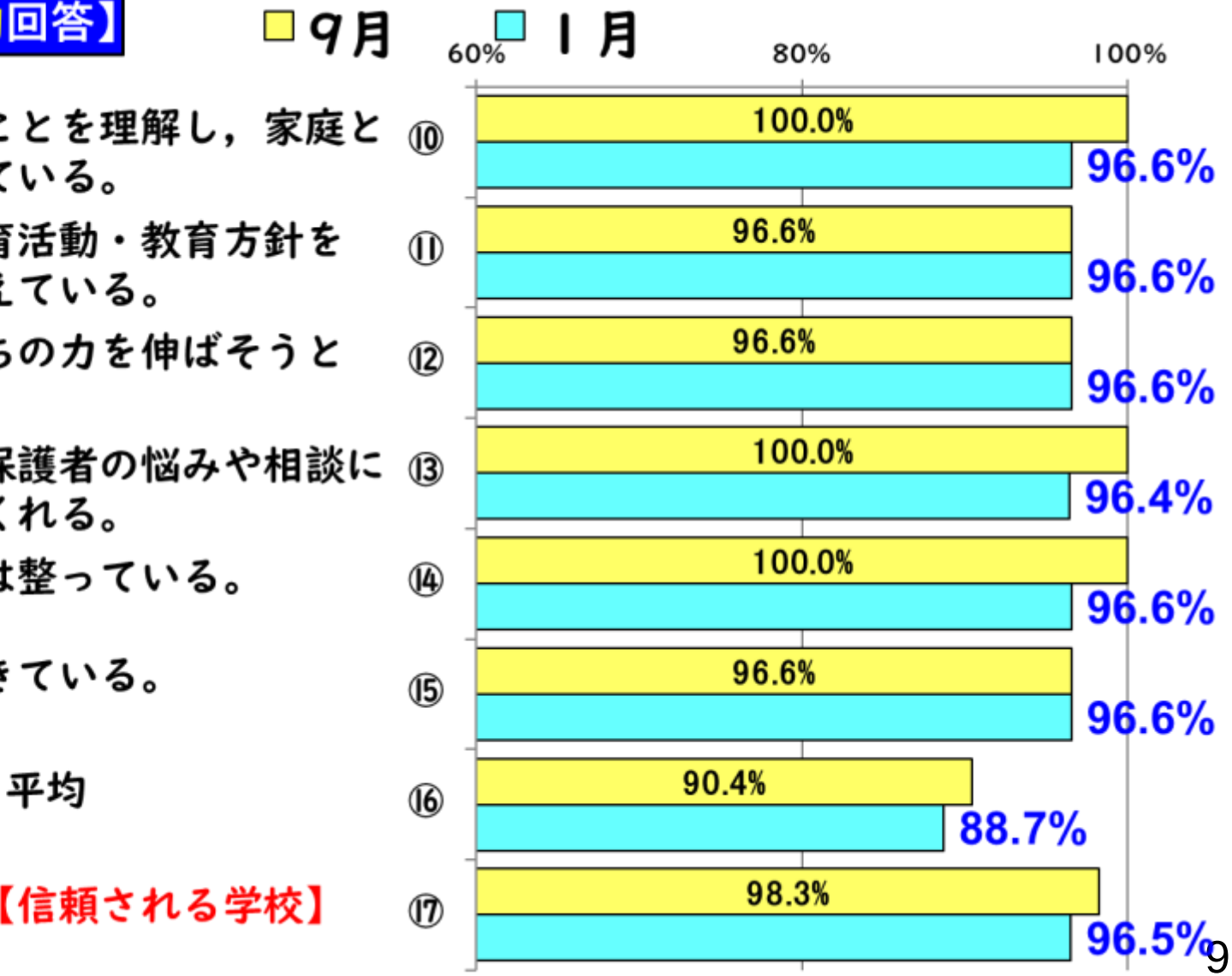
1 はじめに・保護者質問紙から(1)

【保護者・肯定的回答】



1 はじめに・保護者質問紙から(2)

【保護者・肯定的回答】



2 学校評価・自己評価「知」

評価計画（4月末提出）						自己評価		年度末最終自己評価			
	c 中期経営目標（3年後を見据えて）	d 短期経営目標（今年度）	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	年度当初 1学期	h 達成値 2学期	h 達成値 3学期	最終 i=h/g 達成度	最終 j 評価 A～D 4段階評価	k ○結果と ◎課題の説明（短期経営目標についての評価結果）
確かな学力	主体的・対話的に深く学ぶ子 【協働】【コミュニケーション】	(1) 学力向上 ① 協調学習の研究・推進 ② 個別最適な学びの充実（学ぶ喜びサポート）	①わかる喜びを実感させる授業を創造する。 ②全ての児童に基礎基本を定着させる。	① 児童質問紙の研究推進に関する質問の肯定的回答割合 ②-a 学期末テスト(算数)平均通過率80点以上の児童の割合 ②-b 町学力調査(算数)において，❶対全国比1.00以上もしくは，❷対前年度比1.03以上の児童の割合	①100% ②-a 80% ②-b 75%	①100% ②-a 82.9% ②-b 未	①92.5% ②-a 未 ②-b 未	①96.7% ②-a 80.4% ②-b 92.3%	①96.7% ②-a 100.5% ②-b 123.1%	①B ②-a A ②-b A	①達成度96.7%と２学期(92.5%)と比較して肯定的回答が増加している。また，「友達と協力して問題が解けてうれしいと思った～」と100%の児童が回答している。**「学ぶ（分かる）喜び」に関する取組に成果**と言える。一方で、２学期同様に「もっと学びたい，もっと知りたいと思い学習に取り組んだことがあるか。」には低学年児童に３名ほど否定的に回答しており、今後も取組を工夫して継続していく必要がある。 ②-a　目標値を上回った。２学期までの取組を受けて，**個々のつまずきを分析し，つまずきに特化した手立てを実践できたことが要因**と考えられる。しかし，時間経過とともに正答率が下がる傾向が強く、定着のための手立ての工夫が必要である。 ②-b　目標値を上回った。しかし，対全国平均値を下回る児童が18%（7名）いるという課題もあり、定着を図る手立てや個々のつまずきの分析を今後も行うことが必要である。

児童質問紙から

★「学ぶ喜び」の視点

【児童・肯定的回答】

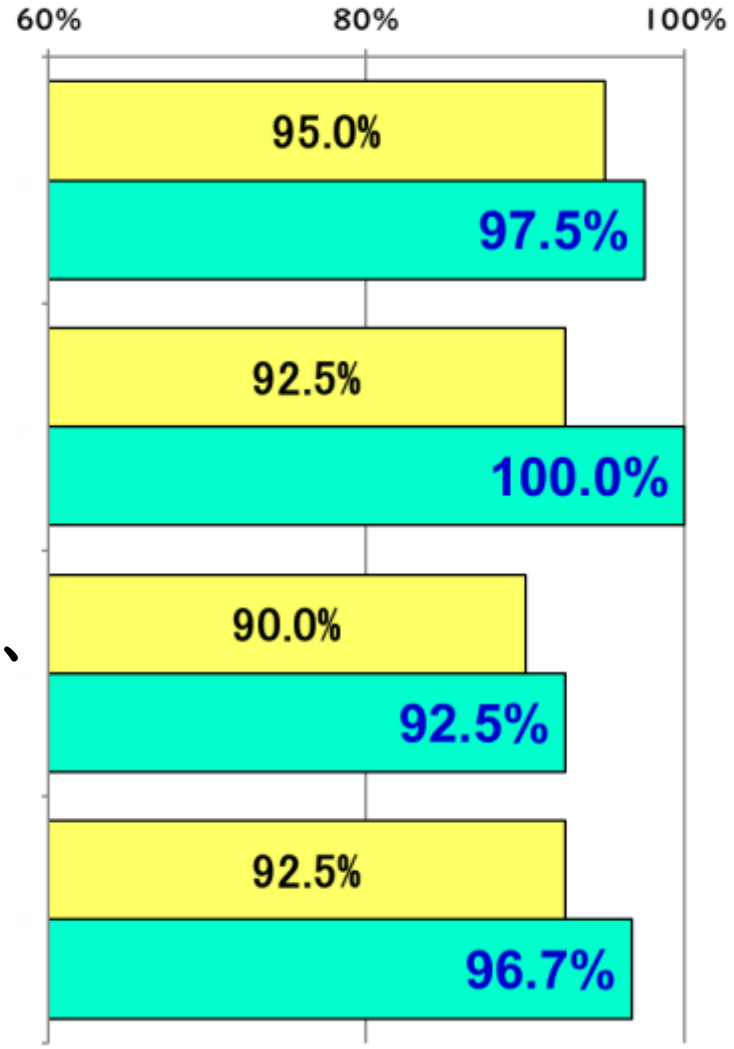
□９月 □１月

⑬自分の力で問題が解けてうれしいと思ったことがある。

⑭友達と協力して問題が解けてうれしいと思ったことがある。

⑮「もっと知りたい」「もっと学びたい」と思い、学習に取り組んだことがある。

⑬～⑮平均・合計【学ぶ喜び】

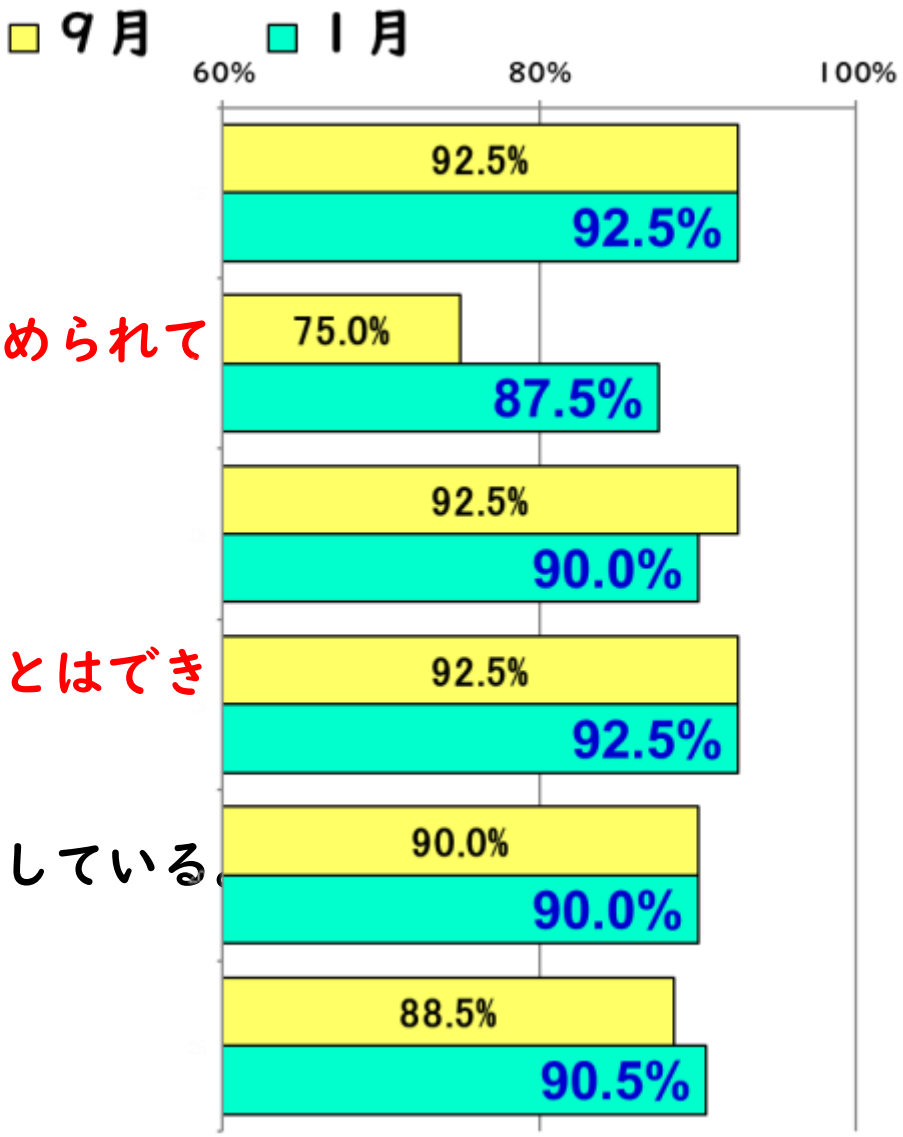


3 学校評価・自己評価「徳」

評価計画（4月末提出）					自己評価		年度末最終自己評価			
	c 中期経営目標（3年後を見据えて）	d 短期経営目標（今年度）	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	年度当初 h 達成値 1学期	2学期	h 達成値 3学期	最終 i=h/g 達成度	最終 j 評価 A～D 4段階評価	k ○結果と◎課題の説明（短期経営目標についての評価結果）
豊かな心	自尊心を高め，自己決定できる子 【自尊心】【自己決定】	(2) キャリア教育の充実	③ 各種専門家や大学生などを招き，キャリア教育を充実させる。	③ 専門家や大学生の話を理解し，共感できたか，将来の選択肢の幅が広がったか。（児童質問紙　肯定的回答）	③ 85%	③ 91.7%	③ 88.5%	③ 90.5%	③ 106%	③ A	③ 2学期以降に、建築専門家，和太鼓プロ奏者の話を聞く機会を設けることができた。また、祇園坊柿の栽培見学や畜産農家，安芸太田町役場，図書館見学等を行うことができた。 ○児童質問紙において、キャリア教育に関する５項目の肯定的回答平均は90.5%で、２学期88.5%より増加している。特に、「自分のよさは周りの人から認められている～」と回答した児童は87.5%（２学期75%）と大きく増加した。 ○各方面の専門家の知識や経験の紹介，施設の見学などの体験活動を通して，子どもたちに将来の夢や職業に対して興味関心を持たせるとともに，自分の将来の夢を実現させようとする態度に好影響を及ぼしていると考えられ、内容を工夫して今後も継続していきたい。

児童質問紙から

【児童・肯定的回答】



⑯自分には，よいところがある。

⑰自分のよさは，まわりの人から認められているると思う。

⑱将来の夢や目標を持っている。

⑲努力すれば、自分もたいていのことはできると思う。

⑳将来の夢や目標をかなえる努力をしている。

⑯～⑳平均・合計　【キャリア教育】

4 学校評価・自己評価「体」

評価計画（4月末提出）						自己評価		年度末最終自己評価			
	c 中期経営目標（3年後を見据えて）	d 短期経営目標（今年度）	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	年度当初	h 達成値	h 達成値	最終		k ○結果と◎課題の説明（短期経営目標についての評価結果）
						1学期	2学期	3学期	i=h/g 達成度	j 評価 A～D 4段階評価	
健やかな体	体力向上・生活習慣確立を図れる子。 【自己決定】	(3) 体力・運動能力の向上	④ 課題種目である，長座体前屈に重点を置いた指導を展開・継続する。 ・個人票（目標記録等の活用） ・体育科のおける取組の継続 ・環境整備（用具・時間の確保）	④-a 新体力テストの結果・分析から，重点課題を設定する。（全国・県平均値との比較）→重点課題：「長座体前屈」 ④-b 評価方法を個人内評価とし，1学期・年度末の伸びの率をみる。	④-a 60% ④-b +10pt (60%)	④-a 6月 60% ④-b	④-a 10月 77.5% ④-b 37%	④-a 85% ④-b 45%	④-a 142% ④-b 75%	④-a A ④-b C	○「長座体前屈」全国平均を超える児童が34/40人＝85%と、目標値60%を大きく上回ることができた。全学級の体育科の授業において、柔軟運動を意図的に取り入れることを継続してきた成果と言える。また、長期休業中にも柔軟運動の課題を取り入れたが、取り組みやすい内容だったので，児童は意欲的に継続して取り組むことができ，成果が上がった。今後も効果的な取組を継続していく。 ○年度はじめからの個人の伸び率では、10pt以上伸びた児童が18/40人＝45%と、目標値60%を達成できなかった。しかし、伸びた児童が34/40人＝85%と、成果は見られる。

5 学校評価

自己評価「信頼される学校」「業務改善」

評価計画（4月末提出）						自己評価		年度末最終自己評価			
	c 中期経営目標（3年後を見据えて）	d 短期経営目標（今年度）	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	年度当初 1学期	h 達成値 2学期	h 達成値 3学期	最終 i=h/g 達成度	最終 j 評価 A～D 自己評価	k ○結果と ◎課題の説明（短期経営目標についての評価結果）
信頼される学校	地域とのつながりによる**信頼される学校**を構築する。 【中立性】 【公開性】	(4) 信頼される学校（評価と公開）	⑤ 保護者・地域へ本校教育活動を積極的に情報発信する。	⑤ 保護者質問紙「信頼される学校」に関する項目の肯定的回答割合	⑤ 90%	⑤ 99.1%	⑤ 98.3%	⑤ 96.5%	⑤ 107%	⑤ A	○保護者質問紙「信頼される学校」に関する項目の肯定的回答割合は96.5%で目標値を上回る結果となった。しかし，保護者質問紙⑩～⑬の肯定的回答は９月よりも微減している。 ○肯定的回答ではない保護者は各１名であった。いろいろな形を模索しながら連携を深めていきたい。 ○今後も、学校だよりやホームページ，学級通信等による積極的な情報発信を通して，保護者・地域の学校の取組への理解を深めていきたい。
		(5) 業務改善	⑥ 勤務時間管理を行う。 業務の共有・整理，改善を行う。 職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	⑥-a 時間外勤務が月45時間未満の職員 ⑥-b 子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合 ⑥-c 日々の業務の中で充実感が得られている職員の割合	⑥-a 90% ⑥-b 90% ⑥-c 90%	⑥-a 24/27＝91% ⑥-b 88.9% ⑥-c 100%	⑥-a 27/27＝100% ⑥-b 100% ⑥-c 100%	⑥-a 36/36＝100% ⑥-b 100% ⑥-c 100%	⑥-a 111% ⑥-b 111% ⑥-c 111%	⑥-a A ⑥-b A ⑥-c A	○積極的な**業務の見直し**や**業務分担の整理**を行うと同時に，**見通しを持った取組**を進めることにより年間を通して目標を達成することができた。 ○業務改善の積極的推進と定着により，結果として，「子どもと向き合う時間が確保されている」「充実感が得られている」と感じる職員割合も目標値を大きく上回ることができていた。

保護者質問紙から

⑩学校は子供のことを理解し，家庭と連絡を～

⑪教育活動・教育方針を分かりやすく伝えて～

⑫学校は子供たちの力を伸ばそうと努力して～

⑬子供や保護者の悩みや相談に適切に対応し～

★No 10～13平均値
【信頼される学校】

